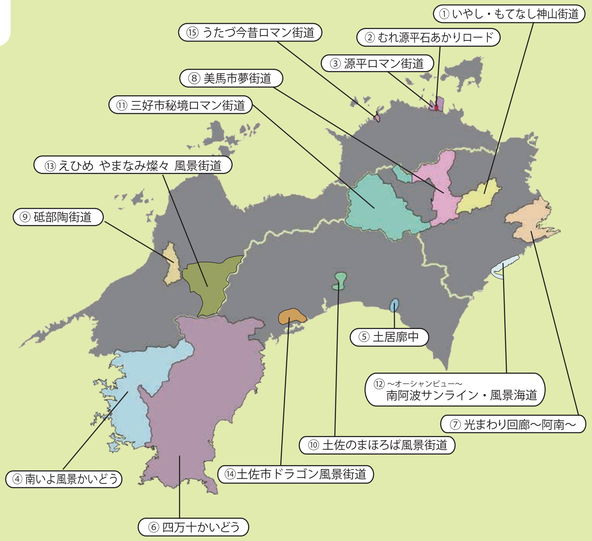
風景街道とは

道は、さまざまな人や物、文化が交流する舞台です。
そして道沿いの地域にはその地域ならではの自然、歴史、文化が息づいており、暮らしがあります。

風景街道は、道と沿道、その周辺を舞台として、
地域住民の皆様・NPO 法人・行政など多様な主体が協力しあい、地域ならではの自然、歴史、文化等の資源を活かして、美しい景観の形成、地域の活性化、観光の振興を図る取組みです。
その結果、かけがえのない日本の原風景や国土文化が維持、再興されることを目指します。

四国の風景街道に是非お越しください。

平成１９年度に風景街道の登録が始まり、全国各地で様々な取組が行われています。
四国では平成２７年３月までに１５ルートが登録されています。１５ルートのそれぞれが個性を活かし、魅力あふれるルートとなっていますので、是非お越しください。



光まわり回廊～阿南～

古代ロマンの光と現代の光をつなぐ道　光まわり回廊 ～阿南～

「光（ひ）まわり回廊～阿南～」は、阿南市住民と行政が活動主体（風景街道パートナーシップ）となって、「阿南光（ひ）まわり協議会」を組織し、平成１９年１１月、日本風景街道に登録されました。
「光まわり回廊～阿南～」とは、阿南市内の多様な地域資源を発掘し、「みち」によって美しい景観や歴史・文化を活かす活動を行い、地域の魅力を向上させ、「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりに貢献することを目的としています。その範囲は、国道５５号と県道２４号を中心とした阿南市全域におよびます。
当ルートには、海・山・川などの豊かな自然に恵まれ、食の楽しみ、そして、古代から足利時代・戦国時代と続く歴史物語が伝わっています。特に日本最古の歴史書「古事記」にゆかりのある場所もあり、天照大御神をイメージする「光」と、まちを鮮やかに彩るＬＥＤイルミネーションの「光」がコラボレーションして、太陽をイメージする阿南市の花「ひまわり」から、「光まわり回廊～阿南～」と名付けられました。

特色

天照大御神の生誕地　～古事記古古道～

阿波には、９２７年（平安時代）に編集が完成した延喜式神名帳に掲載される延喜式内社が数多く点在しています。その中には「古事記」にまつわる神社（式内社）が多く、その式内社を辿っていくと、「古事記の舞台」が浮かび上がり、遙か太古の国生みの古代ロマンに思いを馳せながら巡るストーリー型観光が楽しめます。

「ＬＥＤ」によるまちづくりの発祥地　～光のまち阿南！～

阿南市内には世界的な発光ダイオード（ＬＥＤ）メーカーがあり、ＬＥＤをといれたまちづくりの発祥の地として、市街地をはじめ年中いたる所にＬＥＤイルミネーションが彩られています。また、「光」をテーマにしたコミュニティー施設や、夏と冬には光のイベント開催など、観光客の皆様のために光のまちづくりが進められています。

取組

「光まわり回廊～阿南～」では、地域ならではの風景や自然・歴史・文化などの多様な観光資源を活かして、訪れる人をもてなし喜びや感動をもたらす、地域の活性化と美しい道づくりをめざして、様々な取組を行っています。
その取組の一環として、現在に残こされた「古事記古古道」に繋がる素晴らしい観光資源を全国に発信すべく、ストーリー性に沿った魅力的な観光地域づくりを目指して、私たちパートナーシップが一致団結して活動しています。

A「天照大御神生誕地祭」・「五色の餅なげ」開催（賀志波比売神社・見能林八幡神社）
B「大国主命と素（しろ）うさぎ祭り」開催（賀立神社）
C「古事記古古道を巡る」モニターツアー実施（古事記ゆかりの各所）
D「春の足音を訪ねて撮影会」開催　（市内各所）
E「復活！」さくら街道」植樹祭」開催（八棟神社参道）
F 周遊ルートマップ作成
G「光まわり回廊～阿南～」広報パネル展示会（阿南市商工業振興センター／場所・日程 要確認）
H お遍路案内看板の設置（遍路小屋や沿道住家）
I 阿南市地産特産品「活竹弁当」創作

その他、
・「大国主命生誕地祭」開催
・古事記の由来看板の設置
・「阿波」の歴史をまとめた DVD の収録・発表
・「未知フォーラム２００８ｉｎ南阿波」共催 等々

活動主体・・・・	阿南光まわり協議会
活動の範囲・・・	阿南市全域
中心となる道路・	国道５５号・県道２４号
登録年月・・・・	平成１９年１１月

見どころ案内

古事記にまつわる見どころ

※印の看板はパートナーシップが設置したものです。

※「大国主命生誕の地」看板設置

❶ 八棟神社　やほこじんじゃ　[MAP：D-3]

式内社の八棟神社は、長国（ながのくに）の祖神　大己貴命（おおなむちのみこと）が祀られています。大己貴命は、「古事記」では、出雲（いづも）を治める大国主命（おおくにぬし）のことで、長（おさ）の生まれた町として、見直されています。神社には、紺紙金泥法華経や重要文化財の男神木像彫刻等の宝物が残り、周辺には八棟山古墳群があります。「大国主命生誕の地」の看板が設置されています。
[所在地]阿南市長生町宮内
[連絡先]０８８４-２２-３２９０（阿南市商工政策課）

❷ 津峯神社　つのみねじんじゃ　[MAP：E-3]

阿波三峰のひとつ津峯山（つのみねさん）は、標高 284 メートル、室戸阿南海岸国定公園の一角をなす景勝地で、眼下に広がる橘湾は「阿波の松島」ともいわれています。また、那賀川流域に広がる平野部は、伊邪那佐大神（いざなぎのおおかみ）が禊（みそぎ）をして天照大御神（あまてらすおおみかみ）が誕生した阿波岐原（あわきはら）を望むことが出来ます。山頂にある津峯神社は、賀志波比売大神（かしわひめのおおかみ）が祀られています。津峯山麓から遷宮され、「一日に一人の命を助け給う」と伝わり、人間の寿命を司る神として古くから信仰を集めています。
[所在地]阿南市津乃峰町東分 343　[連絡先]０８８４-２７-００７８

❸ 家具の岩屋　かぐのいわや　[MAP：E-3]

津峯スカイラインの山頂の駐車場から少し下ると、家具の岩屋や神明の窟と呼ばれる洞窟があります。この岩屋は、全国的に多い「桝貸し伝説」として伝わっています。しかし近年、古代の民砂（朱）の採掘遺跡として見直されています。
[所在地]津峯公園内
[連絡先]０８８４-２２-３２９０（阿南市商工政策課）

※「天照大御神生誕の地」看板設置

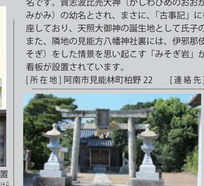
❹ 賀志波比売神社　かしわひめじんじゃ　[MAP：E-3]

式内社の賀志波比売神社は、現在、津峯山頂（津峯神社）に祀られていますが、元地は阿南市見能林町柏野であり、一帯に田園が広がり早期米「阿波美人」の産地で有名です。賀志波比売大神（かしわひめのおおかみ）は、天照大御神（あまてらすおおみかみ）の幼名とされ、また、「古事記」に書かれる阿波岐原（あわきはら）に鎮座しており、天照大御神の誕生地として氏子の皆さんが献身的に奉仕されています。また、隣地の見能方八幡神社裏には、伊邪那佐大神（いざなぎのおおかみ）が禊（みそぎ）をした情景を思い起こす「みそぎ岩」があります。「天照大御神生誕の地」の看板が設置されています。
[所在地]阿南市見能林町柏野 22　[連絡先]０８８４-２２-３２９０（阿南市商工政策課）

※「みそぎ岩」看板設置

❺ 小門神社（みそぎ岩）・阿波岐原　おどじんじゃ（みそぎいわ・あわきはら）　[MAP：E-3]

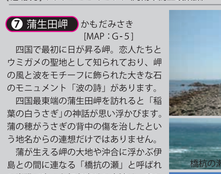
「竺紫（つくし）の日向（ひむか）の橘の小門（おど）の阿波岐原（あわきはら）・・・」
祭事の際、神主が奏上する祝詞の一部で、日本最古の歴史書「古事記」に書かれることを祝詞にしたものです。
打樋川のほとりに立てば、伊邪那佐大神（いざなぎのおおかみ）が、身に付けた物を投げ、禊（みそぎ）をした情景が目に浮かびます。
そして、沖の伊島には、手首に付けた腕輪からなった奥津甲斐弁羅神（おきつかイペラのかみ）が祀られています。
[所在地]阿南市見能林町地域
[連絡先]０８８４-２２-３２９０（阿南市商工政策課）



※「大国主命と素うさぎ」看板設置

❻ 賀立神社　かだちじんじゃ　[MAP：G-5]

蒲生田海岸にある神社で、波の上を跳ぶウサギの彫り物があります。「大国主名と素うさぎ」の看板が設置されています。
また、撫でると願いが叶うという２体の「撫でうさぎ」像が奉納されています。
[所在地]阿南市橘町蒲生田
[連絡先]０８８４-２２-３２９０（阿南市商工政策課）



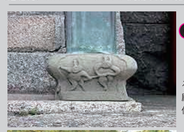
焼灼の痕におわられた兎うさぎ

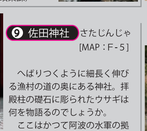
❼ 蒲生田岬　かもだみさき　[MAP：G-5]

四国で最初に日が昇る岬。恋人たちとウミガメの聖地として知られており、岬の風と波をモチーフに飾られた大きな石のモニュメント「波の詩」があります。
四国最東端の蒲生田岬を訪れると「稲葉の白うさぎ」の神話が思い浮かびます。蒲の穂がうさぎの背中の傷を治したという地名からの連想だけではありません。
蒲が生える岬の大地や沖合に浮かぶ岬島との間に連なる「橋杭の瀬」と呼ばれる岩礁に次々と打ち寄せる白波は、まるで白うさぎが飛び跳ねてくるようです。
[所在地]阿南市橘町蒲生田
[連絡先]０８８４-２２-３２９０（阿南市商工政策課）

❽ 金立比羅神社　ことひらじんじゃ　[MAP：D-5]

松琴山山頂に祀る、海のしずめの古社です。元禄九年の棟札あるも古文書によると、現在の社殿は享保元年の創建と記されています。県下最古の神社建築といわれる社殿は、素晴らしい彫刻の施された流造で、木殿は法れとも取り入れた変形権現造り、県下でも貴重な古い神社です。境内社・後世神社には、波の上を飛ぶウサギの彫刻があります。
[所在地]阿南市橘町蒲生田
[連絡先]０８８４-３４-２７３３





❾ 佐田神社　さたじんじゃ　[MAP：F-5]

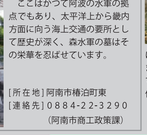
へばりつくように細長く伸びる急村の道の奥にある神社。拝殿柱の礎石に祀られたウサギは何を物語るのでしょうか。
ここはかつて阿波の水軍の拠点でもあり、太平洋上から畿内方面に向う海上交通の要所として歴史が深く、森水軍の墓はその栄華を忍ばせています。
[所在地]阿南市椿泊町東
[連絡先]０８８４-２２-３２９０（阿南市商工政策課）

❿ 當所神社　とうしょじんじゃ　[MAP:G-7]

阿南市の沖の伊島にある當所神社。漆津那咩佐彦命（おきつかぎサヒコのかみ）、漆津甲斐辺羅命（おきつカイペラのかみ）、漆佐加留命（おきサカルのみこと）の三神が祀られています。この神は、伊邪那佐大神（いざなぎのおおかみ）が禊（みそぎ）をした時に、沖に投げた腕飾りからできた神で、この神を祀る神社は、ここ以外に全国にはありません。また、伊島一の絶景が「カベペラ」という地名で、古くから呼ばれています。伊島に渡るには、津乃峰町の答島港から、連絡船がでています。
伊島連絡船（１日３往復、乗船時間は 30 分）
[所在地]阿南市伊島町瀬戸
[連絡先]０８８４-２２-３２９０（阿南市商工政策課）

⓫ 隆禅寺　りゅうぜんじ　[MAP:E-3]

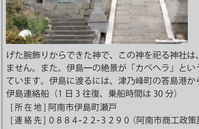
平安（白鳳）時代に創建され、県西の郡里廃寺と共に徳島県内最古の寺院です。
源頼朝の信仰厚く、方二町四方の旧寺域の伽藍跡から多数の古代瓦が発掘されています。
境内に残る当時の礎石も残っていますが、その後、数地造成によって往時の面影を失っています。近年、近くで川原遺跡（宝田町）が発掘され、平安時代の郡衙（郡役所）が近くにあったことがわかり、その関連が注目されています。
[所在地]阿南市宝田町久保田１１９－１２
[連絡先]０８８４-２３-０５９８



⓬ 若杉山版砂探掘遺跡（国史跡）

わかすぎやましんしゅさいくついせき　[MAP:B-3]

『其山丹有（その山に丹あり）』と魏志倭人伝の中にも記されている鉱物の原砂（丹）。弥生時代の終わりから古墳時代の始めにかけて、その原砂を採掘していた全国唯一の遺跡で日本最古の坑道を有する遺跡です。当時、辰砂は水銀朱と呼ばれる赤色顔料に加工され、死者を弔う儀式として石室などにまいたり、塗ったりして使用されていました。
令和元年 10 月 16 日、国史跡に指定されました。



連絡ナビゲーター「若杉シンジャくん」

[連絡先]０８８４-２２-１７９８（阿南市文化振興課）

歴史

❶ 21 番札所　太龍寺　[MAP：B-4]

海抜 600mの太龍寺山の山頂近くにあり「西の高野」と呼ばれ、真言宗準別格本山の格式ある寺院。
太龍寺と室戸岬は青年期の大師の思想形成に重要な役割を果たした修行地です。
[連絡先]０８８４-６２-２０２１

❷ 22 番札所　平等寺　[MAP：D-4]

弘法大師がこの地へ寺を建てる時に鐘杖で土を掘ると乳のように雲水が湧き出たことから、この井戸は“弘法の水”といって、万病に効くといわれています。平等な御利益が授かるようにと「平等寺」といいます。[連絡先]０８８４-３６-３５２２

❸ お松大権現　[MAP：C-3]

お松大権現は、有馬・鍋島と共に日本三大怪猫伝の一つとして名高く、「猫神さん」として有名。勝負事・願い事の神様として、受験シーズンには多くの参拝者があります。
[連絡先]０８８４-２５-０５５６

❹ 取星寺　[MAP：D-2]

四国８８ヶ所霊場第１９番立江寺の奥の院。弘法大師が大龍の獄にて求聞持法の修行中に出現した妖星（種々の災いを起こす星）を秘法で降臨させた時、その星が当山山頂の松樹にかかったので、その星を拾い、妙見菩薩と虚空菩薩の二尊を彫刻して本尊とし、お寺を建立して取星寺と称したといわれています。[連絡先]０８８４-４４-２７７９

❺ 西光寺　[MAP：E-2]

足利将軍家の子孫の歴代一族の霊が眠っています。境内から伸びる桜は白壁に映え、花をつけた枝々から甘酸っぱい香りが漂います。昭和 17 年本堂は焼失しましたが、仁王像のある山門が残っています。
[連絡先]０８８４-４２-０３１６

❻ 桂国寺　[MAP：E-3]

1413 年に創設、戦国時代に戦火のために焼失。1586 年蓬生緑須賀家正により再興されました。客間と書院の間にある庭園は、枯山水と池泉回遊式を結合した桃山時代の名園です。
[連絡先]０８８４-２２-３２９０（阿南市商工政策課）

太龍寺

太龍寺の天井画

お松大権現

お松大権現のまわさ猫

平等寺

取星寺

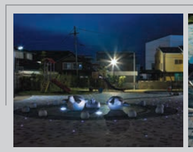
西光寺

桂国寺

LED イルミネーションの見どころ

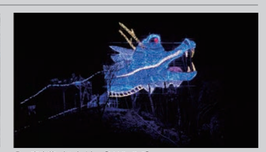
①　牛岐城跡公園(恋人の聖地) [MAP:E-3]

戦国時代に武将の居城があった城趾。「キラキラ・ドーム」は、光のイベントの発祥地として「光のまち阿南」のシンボルとなっています。2006年四国初の「恋人の聖地」に選定されました。
/LED 個数　約4 万個　/ 高さ6m　/ 直径6m　/点灯 17：00～22 :00
[所在地]阿南市富岡町トノ町24-3



②　ＪＲ阿南駅前児童公園　[MAP：E-3]

164 基の地中埋込型ＬＥＤで、波を青、阿南の四季をフルカラーで表現。
流れ星を表現した光のショーも見られます。
/LED 個数　青 84 個　フルカラー 80 個 / 点灯 日没～22：00
[所在地]阿南市富岡町今福寺 59-1



③　夜青龍（西方山）　[MAP：D-2]

西方山の展望所に青龍が出現。ふもとにある日亜化学工業（株）の施設。一般にも開放しています。展望台への山道もＬＥＤで電飾され、まるで天に昇る龍のように見えます。徳島より国道 55 号線の那賀川橋をこえると、正面に現れます。
/LED 個数　約 1.9 万個（青・赤・白・黄）/ 点灯 17：00～22：00
[所在地]阿南市長生町西方

まだまだあります　他の見どころ

自然

❶ 午尾の滝　[MAP：C-3]

那賀川の中流、加茂地区の八幡神社裏にある落差約 30m の滝。滝の流れが馬の尾に似ていることから「午尾の滝」と呼ばれています。
[連絡先]０８８４-２２-３２９０（阿南市商工政策課）

❷ 中央橋　[MAP：C-3]

那賀川中流の沈下橋で、四季折々の山々が川面に映る風光明媚な橋。毎年「鯉まつり」がゴールデンウィークを挟んで開催され、約 600 匹の鯉のぼりが川の上空にたなびきます。
[連絡先]０８８４-２２-３２９０（阿南市商工政策課）

❸ 岩盤公園　[MAP：D-2]

桜が満開になると、長さ 400mの美しいトンネルになる「桜の馬場」が見ものです。さくら祭りの期間はライトアップされ幻想的な夜景が浮かびあがります。
[連絡先]０８８４-２２-３２９０（阿南市商工政策課）

午尾の滝

津峯公園

❹ 明谷梅林　[MAP：D-3]

徳島県南で最も大規模な梅の名所。約５ｈａの敷地に 4000 本の黄・白・ピンクの梅が植えられており、隠れ里のような山里の梅林に心癒されます。２月上旬～３月中旬に咲き誇り、梅林まつりも開催され、餅投げなど楽しいイベントもあります。
[連絡先]０８８４-２２-３２９０（阿南市商工政策課）

❺ 津峯公園　[MAP：E-3]

標高 284mの津峯山一帯に約 2,000 本の桜が咲き誇ります。毎年４月の桜まつりでは、境内で延命長寿を願う、もち投げやさざれも競争が行われます。
[連絡先]０８８４-２２-３２９０（阿南市商工政策課）

❻ 淡島海岸　[MAP：F-3]

シーズンやでもゆったり過ごせる海水浴場。オートキャンプにおすすめです。
[連絡先]０８８４-２２-３２９０（阿南市商工政策課）

❼ 中林海岸　[MAP：F-3]

点在する岩間から昇る朝日は圧巻。風光明媚な海岸でサイクリングロードが整備されています。また、海岸での投げ釣りの他、中林磯はチヌ・アジ・グレ・アイの釣り場としても有名です。
[連絡先]０８８４-２２-３２９０（阿南市商工政策課）

明谷梅林

中林海岸

岩盤公園

❽ 北ノ脇海岸　[MAP：F-3]

その昔、環境庁が「日本一美しい海」と折り紙をつけた西日本を代表する海水浴場。「日本の浦 100 選」にも選ばれた２km にも及ぶ長い砂浜と遠浅の海は、海水浴客と観光地引き網で賑わいます。
[連絡先]０８８４-２２-３２９０（阿南市商工政策課）

❾ 椿自然園　[MAP：F-3]

約１ｈａの園内に、世界の椿 700 種 3000 本が一斉に咲き乱れます。園からの眺めは「とくしま 88 景」のひとつにも数えられ、橘湾の島々が眺められます。
[連絡先]０８８４-３３-１１２７

❿ イシマササユリ　[MAP：G-7]

四国最東端の島で、室戸阿南海岸国定公園の東端にある伊島。紀伊水道に浮かぶ「桃源郷」に咲くイシマササユリ。伊島に渡るには、津乃峰町の答島港から、連絡船がでています。（１日３便往復、乗船時間は 30 分）
[連絡先]０８８４-２２-３２９０（阿南市商工政策課）

体験・交流　[MAP：D-4]

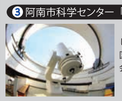
❶「野球のまち阿南」（ＪＡアグリあなんスタジアム）

2007 年に野球のまち阿南推進協議会が発足し、野球によるまちづくりがスタート。2010 年に全国初の「野球のまち推進課」が設置されました。官民が一体となり、キャッチコピー「野球をするなら阿南へ行こう」で草野球の聖地を目指しています。
また、阿南市の玄関口「道の駅公方の郷なかがわ」には、野球必勝祈願のモニュメント「89 番野球（やきゅうじょう）」があります。
[連絡先]０８８４-２２-１２９７（阿南市野球のまち推進課）

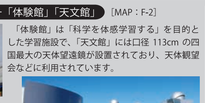
❷ 阿南市Ｂ&Ｇ海洋センター複合型施設「うみてらす北の協」　[MAP：F-3]

カヌーやＳＵＰ等、マリンスポーツ体験ができる。
[連絡先]０８８４-２８-９９３３

❸ 阿南市科学センター「体験館」「天文館」　[MAP：F-2]



「体験館」は「科学を体感学習する」を目的とした学習施設で、「天文館」には口径 113cm の四国最大の天体望遠鏡が設置されており、天体観望会などに利用されています。



[開館時間]９：30～16：00
[休 館 日]月曜日ほか
[連 絡 先]０８８４-４２-１６００

❹ ＪパワーＢ＆Ｇんぴん Ｗａンダーランド　[MAP：E-4]

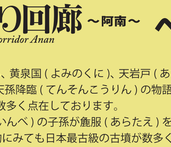
「和」「環」「輪」「わ！」などＷａ」をモチーフにしたアイデアに溢れ、屋内展示コーナーでは、阿南や電気について楽しみながら学べ、屋外では Ｗａンダーグラウンドをはじめ趣向をこらした遊具や四季を彩る花畑などが点在しています。

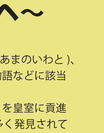
[時　　間]10：00～17：00
[定 休 日]火曜日ほか
[連 絡 先]０８８４-３４-３２５１

お休みどころ案内

❶ 道の駅公方の郷なかがわ　[MAP：E-2]

徳島市より一般国道 55 号を約 20km 南下した一級河川那賀川の河口に開けた平野の中央にあります。阿南市をはじめ、県南の特産品が揃い、JA のとれとれ市も人気を呼んでいます。周辺の観光情報が得られます。
[時　　間]9：00～18：00（喫茶コーナー／ 9：00～16：30、産直市／ 7：00～17：00）
[定 休 日]年中無休（ただし、喫茶コーナーは月曜日、産直市は水曜日休み）
[連 絡 先]０８８４-２１-２６３１





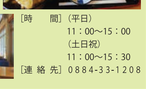
❷ かもだ岬温泉（四国最東端の天然温泉）　[MAP：G-5]

室戸阿南海岸国定公園の中でも、絶景の蒲生田岬にあり、遠くは淡路島や和歌山県を望むことができます。
また、秋のよく晴れた日には場門大橋を眺めることも可能で、秘湯という銘にふさわしい眺望が広がります。
温　泉：41.4℃
湧出量：90ℓ
泉　質：単純温泉（低張性弱アルカリ性温泉）
適応症：神経痛、筋肉痛、関節痛、慢性消化器症、冷え性等
[時　　間]10：00～20：00
[定 休 日]月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始
[連 絡 先]０８８４-２１-３０３０

❸ かもだ岬温泉お食事処「かもだカフェ」　[MAP：G-5]

地元の海の幸と山の幸を使った料理を堪能できる。

名物：はも天丼



[時　　間]（平日）11：00～15：00（土日祝）11：00～15：30
[連 絡 先]０８８４-３３-１２０８

❹ 光のまちステーションプラザ「阿南市観光協会」　[MAP：E-3]

阿南市内のパンフレットが揃っており、また、阿南の銘菓スイーツをはじめ、市内のタケノコ・栗などの山の幸、阿南海域で獲れたワカメ・ちりめん・ヒジキの海の幸などの特産品を販売。また、阿南市のＰＲゆるキャラ「あなな」の関連グッズ商品も販売しており、観光客の皆様方に大変喜ばれています。
[時　　間]10：00～20：00
[休 館 日]月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）
12 月 29 日～1 月 3 日
[連 絡 先]０８８４-２４-３１４１

アクセス

飛行機　羽田空港より約７０分
福岡空港より約７０分
空港連絡バス運行：約２５分
徳島阿波おどり空港　ＪＲ徳島駅

ＪＲ阿南駅	TEL：０８８４-２２-０１４７
駅レンタカー（夏子約）	TEL：０８８４-２２-０１４７
高速バス　徳島バス	TEL：０８８６-２２-１８２６
船舶　南海フェリー	TEL：０８８６-３６-０７５０
伊島連絡定期便（有）	TEL：０８８４-３３-１２７１

お問い合わせ先
四国風景街道協議会事務局　国土交通省 四国地方整備局 道路部地域道路課
〒760－8554 高松市 サンポート３番３３号　ＴＥＬ：０８７８-５１－８０６１（代表）
http://www.skr.mlit.go.jp/road/shikoku-fukeiall/

令和４年３月発行

皆様へのメッセージ

・・“光”が生まれたまち・・“光”をおくるまち・・“光”を楽しむまち・・

～ようこそ　光まわり回廊 ～阿南～ へ～

阿波には、「古事記」に書かれている国生（くにう）みから、黄泉国（よみのくに）、天岩戸（あまのいわと）、ヤマタのオロチ伝説、稲羽（いなば）の素（しろ）うさぎ、天孫降臨（てんそんこうりん）の物語などに該当する地名や神社、祠（ほこら）、遺跡などが、筋書き通りに数多く点在しております。
そして現在も大嘗祭（だいじょうさい）儀式に阿波の忌部（いんべ）の子孫が麁服（あらたえ）を皇室に貢進しております。また、阿波にしかない神社や伝説、考古学的にみても日本最古級の古墳が数多く発見されています。

「竺紫（つくし）の日向（ひむか）の橘の小門（おど）の阿波岐原（あわきはら）に祓い給いときに生まれます・・・」

これは、祭事で神主が奏上する祝詞（のりと）の一部ですが、日本最古の歴史書「古事記」に書かれていることを祝詞にしたもので、伊邪那岐大神（いざなぎのおおかみ）が阿波岐原（あわきはら）で禊をされた時に、天照大御神（あまてらすおおみかみ）が生誕した時の事情を述べたものです。
「古事記」では、九州を表す時には「筑紫」と書き、「竺紫の日向」と書く時は、「筑」を「竺紫の日向」に変換して、「筑紫」と「竺紫」を区別しています。ツクシの語源は「尽きる」で、ヒムカ・ヒムカシ・ヒンガシ・ヒガシ」と変化してきて「東」の意味です。すなわち「竺紫の日向」とは、九州の地名ではなく、「尽きたところの東」という意味で、「古事記」の世界では、神武東征以前の一番東に尽きた所とは、四国最東端「阿南市の橘湾」に面した阿能林地域、今の青木・柏野あたりになるのです。
そして、阿南市内には「古事記」の物語の中心人物となる天照大御神（あまてらすおおみかみ）・月読命（つきよみのみこと）・須佐之男命（すさのおのみこと）、そして、大国主命（おおくにぬしのみこと）がこの地で生誕したと思われる地名や史跡が数多く点在しているのです。（阿波古事記研究会より）

橘湾（阿波の松島）

LED を活用したイベント

阿南市には、世界的な発光ダイオード（ＬＥＤ）メーカーがあります。その地域資源であるＬＥＤを有効に活用し、「光のまち！阿南」としてのまちづくりを進めております。さらに加えて、天照大御神生誕地という歴史文化の発見は、ますます郷土に「自信と誇り」を生みだしました。私たちは、この古代ロマンの“光”と現代の“光”がコラボレーションした「光のまち！阿南」を誇りにし、「郷土を愛し、郷土を思う」気持ちを次世代に繋げていき、新時代の光源であるＬＥＤの如く、鮮明にますます「光輝くまち！阿南」であり続けるよう、「光（ひ）まわり回廊～阿南～」の活動に邁進したいと思います。
どうぞ、皆様、ごゆるりと光輝く「光（ひ）まわり回廊～阿南～」を満喫してください。

阿南市イメージアップキャラクター
［あななん］©2013 ANAN CITY No.331

阿南光まわり協議会
事務局：〒774-0030 阿南市富岡町今福寺 34-4
阿南商工会議所内
TEL 0884-22-2301　FAX 0884-23-5717
E-mail anancci@anancci.or.jp